

彙

報

2018年4月～2019年3月

刊 行 物

* 国際問題研究所紀要第152号 2018年10月31日

論 説

- | | |
|---|-------|
| 島嶼学と金門島 | 佐藤元彦 |
| 中国西南少数民族文献神话在日本的研究
——以《九隆神话》《竹王传说》为中心
“非釋之亂儒，乃儒之亂釋” | 赵 蕤 |
| ——《罽經室集》所見阮元的佛教觀 | 錢 寅 |
| 『天演論』と『勸学篇』の関連性から見た嚴復の政治思想
——二段階的發展及び各段階の政治モデル | 宋 暁 煜 |
| 商代的夢觀念研究 | 騰 兴 建 |
| 「保釣」集體記憶的起伏
——領土爭端、民族主義與世代的懷舊 | 蕭 阿 勤 |

書 評

- | | |
|------------------|-----|
| 《信仰的开花：日本祭典导览》书评 | 张 龙 |
|------------------|-----|

* 国際問題研究所紀要第153号 2019年2月28日

特集 2018年度国際問題研究所講演会

- 中国のシャープパワーと、台湾・中国における地政学と経済関係の変化
呉 介 民
(訳：張文聰、永井真平)

論 説

- | | |
|---|-----|
| 中国都市部住民の情報行動に関する一考察
——メディア利用と生活意識との関連性を中心に | 江 暉 |
|---|-----|

「改革開放」初期の内モンゴルの牧畜業地域社会の実態の検討

仁 欽

研究ノート

宗族社会における女性の役割

——金門縣珠山聚落を事例として

大阪屋号書店小史

松 岡 正 子

湯 原 健 一

書評

有温度的民俗 有深度的“案内”

——林承緯著《信仰的開花：日本祭典導覽》評介

錢 寅

記録

Tel Aviv, Jerusalem, Bucharest, Braşov and Chişinău February/
March 2018

ジョン・ハミルトン

* 国研叢書第4期第3冊

「20世紀前半の台湾 一植民地政策の動態と知識青年のまなざし」

／塩山正純〔編著〕（著者8名）

名古屋：あるむ，2019.1

* 愛知大学国際問題研究所所蔵

「LT・MT貿易関連資料」全8巻／嶋倉民生・井上正也〔編〕

東京：ゆまに書房，2018.11（愛知大学国際問題研究所創立70周年記念）

講演会等

・公開講演会

2018年4月14日（土）

テーマ：「碑刻文献与台湾社会史研究」

（石碑に刻まれた文献と台湾社会史研究）

講演者：陳 小沖（厦門大学台湾研究院歴史研究所長・教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所

共 催：中国現代史研究会東海部会

協 賛：厦門大学兩岸関係和平發展協同创新中心

・公開講演会

2018年5月8日（火）

テーマ：「新しい時代における台湾海峡関係の新しい思考」

講演者：劉 国深（厦門大学台湾研究院教授・厦門大学兩岸関係和平
發展協同创新中心執行主任）

主 催：愛知大学国際問題研究所

協 賛：厦門大学兩岸関係和平發展協同创新中心

・公開ワークショップ（国際問題研究所プロジェクト）

2018年5月20日（日）

北京からの報告

テーマ：「中国一帯一路構想の日中協力の未来像」

報告者：李 博（愛知大学ICCS客員研究員）

基調講演

テーマ：「中国の世界戦略と日中関係の両面から見た一帯一路」

講 師：川村範行（名古屋外国語大学特任教授、日本日中関係学会副
会長、元東京新聞・中日新聞論説員、上海支局長）

会 談：国研プロジェクトによる提言に向けて

大澤正治（愛知大学経済学部教授、プロジェクトメンバー）

李 春利（愛知大学経済学部教授、プロジェクトメンバー）

主 催：愛知大学国際問題研究所プロジェクト

「輸送大動脈に関する展望と課題、中国一帯一路計画をめぐって」

・公開講演会

2018年6月6日（水）

テーマ：「中国『鋭實力』（シャープパワー）と東アジア地縁政治・
経済の変動」

講演者：呉 介民（台湾・中央研究院社会学研究所副研究員）

主 催：愛知大学国際問題研究所

・公開研究会

2018年6月23日（土）

第57回愛知県世界史教育研究会

研究発表

テーマ：「日本史の授業に生徒が興味を示すものは何か」

発表者：吉田篤弘（犬山高校）

テーマ：「『山川デジタル歴史地図』（山川出版社）を製作して」

発表者：黒野峻太郎（日進高校）

テーマ：「高校生を歴史研究へと誘う導入資料と自主ゼミの実践」

発表者：木内 翔（東海高校）

テーマ：「エンバシー・シチズンシップ・歴史教育」

発表者：杉浦美香（愛教大院）

テーマ：「深い思考を評価するテスト問題の工夫」

発表者：野々山新（日進西高校）

基調講演

テーマ：「新しい学習指導要領を読んで思うこと」

講演者：木下康彦（元岐阜大学教授、元文部省教科調査官・視学官）

主 催：愛知県世界史教育研究会

共 催：愛知大学国際問題研究所／愛知大学教職課程センター

・公開講演会

2018年6月30日（土）

テーマ：「泰山信仰与中国传统社会 —从国家宗教到民间信仰—
（泰山信仰と中国伝統社会 —国家宗教から民間信仰へ）

講演者：葉 涛（中国社会科学院世界宗教研究所研究員（博士導師）、
中国民俗学会副会長兼秘書長、国家公共文化服務体系建設專
家委員会委員）

主 催：愛知大学国際問題研究所

共 催：愛知大学大学院

・国際シンポジウム

2018年7月14日（土）

テーマ：愛知大学国際問題研究所創立70周年記念国際シンポジウム
「グローバルな視野とローカルの思考 ―個性とのバランス
を考える」

総合司会：松岡正子（愛知大学現代中国学部）

開会挨拶：川井伸一（愛知大学学長）

来賓祝辞：鄭 毓瑜（台湾大学講座教授、行政院科技部人文及社会
科学研究發展司司長）

基調講演

テーマ：「華夷之變―中国研究の新視界（華夷之變―中国研究の新しい
視野）」

講演者：王 徳威（ハーバード大学東アジア言語文明学科・比較文学
科Edward C. Henderson講座教授）

関連討論：梅 家玲（台湾大学）、林 晨（南開大学）

第1部 歴史・文化

司 会：馬場 毅（愛知大学名誉教授）

発 表：「土の近代」と「水の近代」―中国近代化の歩みから考える」

発表者：石井 剛（東京大学大学院総合文化研究科）

発 表：「グローバル化の時代における翻訳不可能なものたち」

発表者：橋本 悟（メリーランド大学東アジア言語文化学科・本研究
所客員研究員）

コメンテーター：松浦恆雄（大阪市立大学大学院文学研究科）

裴 亮（武漢大学）

第2部 民族・経済

司 会：太田幸治（愛知大学経営学部）

発 表：「民族文化」のジレンマ—現代中国におけるグローバル化と生活実践」

発表者：河合洋尚（国立民族博物館・本研究所客員研究員）

発 表：「グローバル化するマーケティング —伝統文化との衝突」

発表者：土屋仁志（愛知大学経営学部）

コメンテーター：佐藤元彦（愛知大学経済学部）

総合討論

司 会：加納 寛（愛知大学国際コミュニケーション学部）

討論人：石井 剛、橋本 悟、河合洋尚、土屋仁志、松浦恆雄、
佐藤元彦、裴 亮

主 催：愛知大学国際問題研究所

閉会挨拶：黄 英哲（愛知大学国際問題研究所所長）

※費用の一部は、公益財団法人愛知大学教育研究支援財団「平成30年度学術講演会助成金」による。

・公開研究会

2018年7月15日（日）

テーマ：車道ワークショップ

「グローバルな視野とローカルの思考

—中国近代の知識経験及び文学をめぐって」

第一場次

主持人兼討論人：王 徳威（哈佛大學講座教授）

発 表：「公理與直覺：梁宗岱與梵樂希的「詩」對話」

発表者：鄭 毓瑜（台灣大學講座教授）

発 表：「回歸自然”在現代中國文學的譜系建構」

発表者：津 守陽（神戸外國語大學准教授）

第二場次

主持人：伊藤德也（東京大學教授）

發表：「世紀之交章太炎的文學觀」

發表者：林 少陽（東京大學教授）

討論人：鄭 毓瑜（台灣大學講座教授）

發表：「抵抗／合作之間—試論抗戰時期周作人的翻譯活動」

發表者：鳥谷真由美（北九州市立大學准教授）

討論人：伊藤德也（東京大學教授）

第三場次

主持人：黃 英哲（愛知大學教授）

發表：「粵謳與粵語政治：新馬華人社會的民族文化想像」

發表者：高 嘉謙（台灣大學副教授）

討論人：濱田麻矢（神戶大學准教授）

發表：「从创作“谈”到小说“课”——驻校作家制与作家批评的复兴
和塑形」

發表者：裴 亮（武漢大學副教授）

討論人：高 嘉謙（台灣大學副教授）

第四場次

主持人兼論文討論人：林 晨（南開大學副教授）

發表：「知識的旅行：晚清科學小說中的星際漫遊」

發表者：潘 少瑜（台灣大學副教授）

發表：「河、治理與地方：《老殘遊記》中的情感與科技」

發表者：許 暉林（台灣大學副教授）

綜合座談

主 題：「中國近代知識經驗與文學表述」

與談人：鄭 毓瑜（台灣大學講座教授）

人 員：王 德威（哈佛大學講座教授）·鄭毓瑜（台灣大學講座教授）·
林 少陽（東京大學教授）·伊藤德也（東京大學教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所

共 催：『中国21』Vol. 50編集委員会

・公開講演会

2018年9月15日（土）

テーマ：「台湾は、いま、なぜ南進・南向へ」

講 演：「『中国』政権の本質」

講演者：鄭 欽仁（台湾大学名誉教授）

講 演：「シヤンデリアに巻き付いてるオオアナコンダ」

—中国脅威論と地域的な対応

講演者：呉 介民（台湾・中央研究院社会学研究所副研究員）

講 演：「台湾における南進政策の歴史的考察」

講演者：薛 化元（台湾・政治大学台湾史研究所教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所

共 催：台湾文化部

後 援：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

※台湾文化部補助金により実施

・公開講演会並びに著者サイン会

2018年9月30日（日）

テーマ：「『台湾のなかの東南アジアを考える』

彷徨いたいわけじゃない：グローバル化下の結婚

移民女性の抵抗とエンパワーメント」

司 会：洪 郁如氏（一橋大学大学院社会学研究所教授）

講演者：夏 曉鵬（台湾・世新大学社会発展研究所教授）

聞き手：横田祥子（滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科助教）

主 催：愛知大学国際問題研究所／蔣経国国際学術交流基金会／

東方書店

共 催：台湾文化部

後 援：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

※台湾文化部補助金により実施

・公開講演会

2018年10月11日（木）

テーマ：「近代上海的戯曲演出」

講演者：李 孝悌（香港城市大学歴史・文学学系教授、中国文化センター主任）

共 催：愛知大学大学院中国研究科／愛知大学国際問題研究所

・公開講演会

2018年10月12日（金）

テーマ：「南進・南向—台湾映像芸術の視点と地域政治 殖民文化の最後の残存戦後台湾における日本映画私観」

講演者：邱 坤良（台北芸術大学戯劇学院教授・元台北芸術大学学長）

主 催：金城学院大学金城学院大学文学部外国語コミュニケーション学科／愛知大学国際問題研究所

共 催：台湾文化部

後 援：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

※台湾文化部補助金により実施

・ドキュメンタリー映画上映とシンポジウム

2018年10月13日（土）

テーマ：「南進・南向—台湾映像芸術の視点と地域政治」

午前の部

ドキュメンタリー上映

1. 『湾生画家—立石鉄臣』監督：郭亮吟 藤田修平

2. 『緑の海平線—台湾少年工の物語』監督：郭亮吟 藤田修平

午後の部

シンポジウム

特別講演

テーマ：「台湾演劇における歴史要素の使用

— 『月夜情愁』の連鎖劇と演劇分野の闘争」

講演者：邱 坤良（台北芸術大学戯劇学院教授・元台北芸術大学学長）

研究発表

テーマ：「南方の歴史記憶の再現—『湾生画家—立石鉄臣』から
『緑の海平線—台湾少年工の物語』へ」

発表者：陳 儒修（台湾・政治大学メディア学科教授）

テーマ：「南方ブームとアーカイヴの罪—現代台湾の映像芸術にみえる
幽霊的な歴史」

発表者：孫 松栄（台南芸術大学動画芸術&映像美学研究所所長）

テーマ：「日本南進政策におけるプロパガンダ、台湾映画と歌謡
—『南方の歌』と『南方発展史 海の豪族』を例に」

発表者：王 亜維（台湾・政治大学メディア学科助理教授）

総合討論

司 会：川村亜樹（愛知大学現代中国学部教授）

討論者：三木直大（広島大学名誉教授）

永田道弘（愛知大学国際コミュニケーション学部准教授）

馬 然（名古屋大学大学院文学研究科准教授）

陳 儒修（台湾・政治大学メディア学科教授）

孫 松栄（台南芸術大学動画芸術&映像美学研究所所長）

王 亜維（台湾・政治大学メディア学科助理教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所

共 催：台湾文化部

後 援：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

※台湾文化部補助金により実施

・ドキュメンタリー映画上映とシンポジウム

2018年10月14日（日）

テーマ：「イメージ・メディア・アーカイヴ：南進・南向をめぐる戦
争記憶のリミックス」

第I部 研究集会

テーマ：「從《南進台灣》到《軌道》的台灣想像（『南進台湾』から
『軌道』へ到る台湾イメージ）」

講演者：陳 儒修（政治大学）

テーマ：「南方熱・檔案悪：當代台影像藝術の幽幻史事（南方ブームとアーカイヴの罪：現代台湾の映像芸術に見える幽霊的な歴史）」

講演者：孫 松榮（台南芸術大学）」

テーマ：「戦時日本の南方映画工作と台湾：“大量時代”における歴史研究の試み（戦時日本の南方電影工作於台灣：在“大量時代”歴史研究的一个嘗試）」

講演者：菅原慶乃（関西大学）

テーマ：「日本軍政時期のシンガポール・マレーシア映画（日本軍政時期的心馬電影）」

講演者：張 新民（大阪市立大学）

全体討論

登壇者：邱 坤良（台北芸術大学）

孫 松榮（台南芸術大学）

陳 儒修（政治大学）

王 亜維（政治大学）

張 新民（大阪市立大学）

菅原慶乃（関西大学）

第Ⅱ部 映画上映と監督トーク

『蟻の兵隊』上映

『緑の海平線』上映

池谷 薫氏トーク

郭 亮吟氏・藤田修平氏トーク

主 催：関西大学アジア・オープン・リサーチセンター／
愛知大学国際問題研究所

共 催：台湾文化部

後 援：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
※台湾文化部補助金により実施

・公開講演会

2018年11月9日（金）

テーマ：「KU-ORCASの目指すもの

ーオープンプラット・フォームが切り開く新しい人文知の未来」

講演者：内田慶市（関西大学外国語学部教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所

・公開研究会

2018年11月12日（月）

テーマ：「アメリカから見たヨーロッパ・フランス

ーフランス現代文学・哲学を通してー」

講演者：Robert Harvey（ニューヨーク州立ストーニーブルック大学
教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所

・記念講演会

2018年12月20日（木）

テーマ：『LT・MT貿易関係資料』出版記念会
特別講演

テーマ：「戦後日中関係研究の可能性」

講演者：井上正也（成蹊大学法学部教授）

来 賓：安田佳三（元日中経済協会理事長）

十川美香（日中経済協会理事）

嶋倉民生（編者・愛知大学名誉教授・第10代国際問題研究
所所長）

挨 拶：川井伸一（愛知大学学長）

主 催：愛知大学国際問題研究所

共 催：愛知大学現代中国学会/愛知大学国際コミュニケーション学会

・公開研究会

2018年12月22日（土）

第59回愛知県世界史教育研究会

研究発表

発表：「今にいきる『ミュンヘン・アナロジー（宥和か抑止か）』
—ロールプレイを取り入れた思考・判断する世界史授業—」

発表者：鈴木恵子（東郷高校）
遠藤紳一郎（早稲田大学）

発表：「連盟・同盟・戦争の交錯する1930年代の世界
—国際バカロレア「歴史」の理念を活かした深い学び—」

発表者：梶木尚美（大阪教育大学池田校舎）

発表：「本質的な『問い』を中心にした主題学習のカリキュラム構成
—“Teaching U. S. History Thematically”を手がかりにして—」

発表者：中村洋樹（四天王寺大学）

発表：「アクティブラーニングを採用した世界史授業の特徴
—進学校における世界史教師のケーススタディから—」

発表者：空 健太（岐阜高専）

発表：「アクティブ・ラーニングの教育方法史上の位置と課題
—歴史総合と世界史探究を目の前にして—」

発表者：西牟田哲哉（豊橋西高校）

発表：「ジェンダー視点は歴史的思考をどう鍛えるか？」

発表者：川島啓一（同志社高校）

基調講演

テーマ：「現代が中世を観る—西洋中世史学の50年—」

講演者：樺山紘一（東京大学名誉教授 印刷博物館館長）

主催：愛知県世界史教育研究会

共催：愛知大学国際問題研究所／愛知大学教職課程センター

・公開研究会（国際問題研究所プロジェクト）

2019年2月16日（土）

テーマ：「韓国無償給食の動向」

講演者：藤澤宏樹（大阪経済大学経営学部ビジネス法学科教授）

主 催：愛知大学国際問題研究所プロジェクト

「日韓・韓日における司法制度の比較法的検討」

・公開研究会

2019年3月31日（日）

第61回愛知県世界史教育研究会

研究発表

発 表：「金鯪が見てきた世界史

—グローバルな歴史をもつ名古屋と世界のつながり—

発表者：加納 寛（愛知大学）

発 表：「政治的主体の育成を志向するオーストリアの教育改革

—ウィーン大学：Fach Didaktik Zentrumの歴史・政治教育
教材を手がかりに—

発表者：尾藤郁哉（広島大学大学院）

発 表：「「ヨーロッパ中世の特徴」を、いかに史資料で／に語らせる
か？ —新科目「世界史探究」に向けての一試案—

発表者：井上智也（大垣商業高校）

発 表：「歴史的思考力育成にあたっての史資料の扱いに関する一考察
—中学校と高校の教科書を比較して—

発表者：小島孝太（一宮高校）

発 表：「高大接続の観点から見る高校世界史教育

—教員養成系大学における世界史Aの学習効果—

発表者：内藤裕子（阿久比高校）

発 表：「認知心理学から見たジグソー学習の教育的意義」

発表者：山田 孝（名古屋市立大学）

基調講演

テーマ：「高校世界史とグローバル・ヒストリー

—拙著の紹介と「問い」への展望—

講演者：北村 厚（神戸学院大学人文学部准教授）

主 催：愛知県世界史教育研究会

共 催：愛知大学国際問題研究所／愛知大学教職課程センター

会 議

2018年度

* 運営委員会

2018年 4 月12日 (第1回)

2018年 4 月26日 (第2回)

2018年 7 月 3日 (第3回)

2018年 7 月30日 (第4回)

2018年 9 月13日 (第5回)

2018年10月 2日 (第6回)

2018年10月18日 (第7回)

2018年11月 8日 (第8回)

2018年12月 4日 (第9回)

2019年 1 月25日 (第10回)

2019年 2 月27日 (第11回)

* 所員会議

2018年 5 月24日 (第1回)

人 事

2018年度

* 所長

黄 英哲 (現代中国学部教授)

* 運営委員

太田 幸治 (経営学部准教授)

加納 寛 (国際コミュニケーション学部教授)

塩山 正純 (国際コミュニケーション学部教授)

松岡 正子 (現代中国学部教授)

2018年度 国際問題研究所所員

(五十音順)

	氏名	所属職	担当科目・研究テーマ (専門分野)
	安部 悟	現代中国学部教授	国家戦略としての孔子学院とHSK
	荒川 清秀	地域政策学部教授	中国語学、日中比較語学、日中共通の看護の歴史的研究
	李 泰 王	経済学部教授	韓国経済論、東北アジア経済論
	伊東 利勝	文学部教授	歴史学、東南アジア近世史論
	岩田 晋典	国際コミュニケーション学部教授	現代日本社会における国際観光・東亜同文書院大旅行におけるアジア経験
	宇佐美 一博	文学部教授	中国哲学、春秋学の成立と展開、東アジアの比較思想
	大澤 正治	経済学部教授	環境経済学、エネルギーと経済、社会との関係、環境政策の国際比較
○	太田 幸治	経営学部准教授	エンターテインメントのマーケティング研究
	加治 宏基	現代中国学部准教授	国連における中国の対外政策研究
○	加納 寛	国際コミュニケーション学部教授	日本・アジア生活文化論、東洋史(タイ文化史)
	川井 伸一	経営学部教授	中国経営論、中国企業社会論
	河辺 一郎	現代中国学部教授	国連問題、国連政策を中心にした日本外交
	川村 亜樹	現代中国学部教授	アメリカにおける「人種」問題
	葛谷 登	経済学部教授	比較思想文化論、中国におけるキリスト教の受容の歴史
※	桑島 由美子	経済学部教授	グローバル化の中での中国の思想・文化・学術の比較研究、東アジアの地域文化研究
◎	黄 英 哲	現代中国学部教授	中国現代文学作家研究、台湾近現代史・台湾文学
	高 明 潔	現代中国学部教授	①中国地域社会・少数民族に関する人類学的研究 ②中国東北部・モンゴルを中心とする北東アジアにおける生態人類学的研究
	佐藤 元彦	経済学部教授	貧困削減におけるマイクロファイナンスとOVOPの役割
○	塩山 正純	国際コミュニケーション学部教授	近代西洋人による中国語研究史・異文化翻訳史及び東亜同文書院生をはじめとする近代日本青年の南方体験について
	清水 伸子	経済学部准教授	ロシア語、19世紀ロシア美術
	周 星	国際コミュニケーション学部教授	生活文化論、民族学、民俗学(生活文化論)、日中比較文化

	須川 妙子	短期学部教授	日本の食の文化、食の思想に関する諸外国との相互関係について
	鈴木 規夫	国際コミュニケーション学部教授	国際文化関係論、政治哲学、イスラーム研究、平和研究
	砂山 幸雄	現代中国学部教授	現代中国における文化変容の総合的研究
	薛 鳴	現代中国学部教授	社会言語学の観点からみる中国語の変容
	高橋 五郎	現代中国学部教授	国際社会調査論、中国・アジアの農業・食糧問題
	竹内 晴夫	経済学部教授	①中央銀行の「最後の貸手」機能とその限界 ②雇用システムないし非正規雇用の比較研究
	田中英式	経営学部教授	国際市場における日本企業と後発国企業との競争
	唐 燕霞	現代中国学部教授	アジア社会論、中国の都市基層社会の自治について
	土橋 喜	現代中国学部教授	インターネットの安全性についての国際的取組と情報通信産業の果たす役割に関する研究
	樋野 芳雄	国際コミュニケーション学部教授	国際政治論、現代国際政治、思想の変容
	藤森 猛	現代中国学部准教授	東アジア（中国・韓国・日本など）の大衆芸術および中国語語彙研究
○	松岡 正子	現代中国学部教授	汶川地震（2008年5月12日四川省で発生）後のチャン族の生活と社会の再建、文化資源の復興を通してみる国家と少数民族
	三好 章	現代中国学部教授	日中戦争史、中国近現代史
	村松 幸広	経営学部教授	中国と日本の小売流通と消費者行動に関する比較研究およびグローバルな視点からの流通研究
	森 久男	経済学部教授	中国根拠地経済紙、中国経済史、蒙疆政権の研究
	吉垣 実	法学部教授	英米の司法制度（特に民事手続法）、法整備支援、韓国の司法制度
	吉川 剛	現代中国学部准教授	中国における法意識・法文化ならびに法制建設に関する研究
	李 秀 宓	法学部教授	会社法、コーポレートガバナンスにおける機関投資家の役割
	李 春 利	経済学部教授	中国経済論、国際産業論
	劉 柏 林	現代中国学部教授	中日ビジネス会話、日中言語と文化の比較

◎…所長、○…運営委員、※…新所員

2018年度 国際問題研究所名誉研究員

(五十音順)

	氏名	研究主題
	浅尾 仁	比較経済体制論
	今泉 潤太郎	中国語・日本語語彙対照研究
	海老澤 善一	近代哲学成立の比較研究及びアジアへの波及
	大島 隆雄	近現代資本主義の国際的・比較史的研究 自動車工業の国際的・比較史的研究
	奥野 博幸	金融論
	加々美 光行	中国現代中国政治思想・東アジア国際政治・中国の民族問題
	河野 眞	比較文化、ヨーロッパ民俗学、観光研究
	嶋倉 民生	中国・日中の政治・経済問題
※	John Hamilton	Politics, Philosophy, Economics、コミュニケーション英語
	陶山 信男	日・中・韓三国の言語と文化の本質
	高橋 正	市場経済と持続可能な社会・国際協同組合運動の現状と展望・世界の食料需要動向と食の安全性
	高橋 秀雄	フランス語言語学
	田崎 哲郎	アジアにおける牛痘法の普及・千歳丸の研究
	谷 光隆	東亜同文会及び東亜同文書院の各種刊行物、並びに支那調査報告書 稿本の中に見えるアヘン関係記事の集録
	張 琢	中国史概説、中国社会学、中国農業論
	中島 敏夫	中国文学研究・中国文学史研究・中国神話学研究・ 中国文学理論研究・中国唐詩研究
	馬場 毅	日中関係史・日中戦争史・中国水利史
	藤城 和美	イギリス保守主義の研究（パークからサッチャーまで） 小岩井淨の政治学とアジア研究・朝鮮問題研究
	藤田 佳久	地理学
	古澤 賢治	日中韓の国際関係をめぐる動きと今後について
	保住 敏彦	近代経済思想史、近代経済学史
	松村 一隆	物価指数（とくにアメリカの消費者物価指数）・世界経済論
	宮崎 鎮雄	DOR（東ドイツ）労働法の歴史的意義と問題の所在
	三好 正弘	国際法・領土、国境紛争
	山本 一巳	発展途上国経済論

※今年度から

2018年度 国際問題研究所客員研究員

推薦者が退職した場合、空欄とした。(五十音順)

	氏名	推薦者	研究主題
	石田卓生	黄 英 哲	東亜同文書院の中国語教育についての研究
	伊藤ひろみ	松岡正子	「孝」の言説と実践（中国陝西省・沖縄を中心に）
	井上正也	黄 英 哲	戦後日中民間貿易史
	Schmid, Ulrich Wilhelm	黄 英 哲	1. 在庫回転期間というKPIの理論及び応用。 2. 配当金を経費と見なすべきか否か。
※	岳 薇	塩山正純	早期域外（とくに近代日本の）漢語教学に関する文献の整理と研究
	上木敏正	馬場 毅	レーガン政権期におけるアメリカ国内M&A活動の調査・分析
	河合洋尚	松岡正子	中国西南部における城鎮化と客家資本の利用をめぐる人類学的考察
	川口洋史	加納 寛	外交文書から見た18世紀末19世紀初頭におけるタイ・ベトナム関係
	菊地俊介	三好 章	日中戦争期における日本の対華北占領統治と日中民間交流
	虞 萍	薛 鳴	①近現代日中知識人の交流 ②日本人に役立つ中国語教材の作成
	江 暉	三好 章	日中国民が抱く相互イメージの形成及びその歴史的プロセスに関する研究
	坂井田夕起子	黄 英 哲	近現代東アジアの仏教交流と戦争、平和運動について
	志賀吉修	海老澤善一	近代（19世紀中後半）英国政治史—グラッドストンの政治の業績考察—
	嶋田 聡	黄 英 哲	台湾近代史研究、日本統治期台湾文学研究、中国近現代文学研究
	謝 群	砂山幸雄	近代在中国日本人顧問の研究—19世紀末から1928年までを中心に—
	謝 政論	松岡正子	当代日本と中国的「結与解」—従東亜文化軟實力解説
	徐 青	鈴木規夫	近代日中文化交流
※	孫 云	黄 英 哲	日本社会対当前台湾政局及两岸关系的认知
	高木秀和	黄 英 哲	①20世紀の中国辺境地域の地域変容に関する研究。 ②近代日本と長江流域都市間における水産物流通に関する研究
	武井義和	加々美光行	上海朝鮮居留民研究、孫文支援者山田良政・純三郎兄弟研究
	張 羽	黄 英 哲	植民地の台湾と「満州」文学圏考論
	趙 蕤	松岡正子	中国西南少数民族の神話および民間文学の研究—日本の神話研究との比較
	陳 小沖	黄 英 哲	植民地時代における台湾社会の「日本化」について
	塚田誠之	松岡正子	中国広西における諸民族の文化とその資源化

	David Y. H. Wu (吴燕和)	黄 英 哲	(1) The global politics of food; (2) Cultural political issues of the diaspora Chinese in the South Pacific
※	田 炳西	吉 垣 実	「日韓・韓日の司法制度の比較法的検討—民事法を中心として—」
※	唐 權	黄 英 哲	日台関係の新変化と兩岸関係に伝える影響
	野口 武	三 好 章	(1) 清末期山東の督撫重権問題 (2) 亜東同文書院と日本実業社会について
	橋本 悟	黄 英 哲	東アジア文学 (中国・日本・韓国) の比較研究
	長谷川 怜	三 好 章	仏教を通じた日中連携と水野梅暁・藤井静宣
	馬場公彦	鈴木規夫	日中関係論・東アジア論・国際関係論・メディア研究
	日野みどり	黄 英 哲	現代中国社会学論、香港・華南研究、食文化研究
	平川雄一	李 泰 王	東アジア (中国および韓国) における農山村地域の過疎問題
	広中一成	三 好 章	①中国近現代史 ②日中戦争史
	古村治彦	鈴木規夫	現代日本政治分析：ポスト55年体制下の政治状況の研究
	彭 新武	李 春 利	中日美管理文化的比较与融合
※	星野靖雄	李 春 利	企業合併、合併・買収、完全子会社の国際経営比較
※	細萱伸子	唐 燕 霞	日本人大卒女性のプロティアンキャリアの展開に及ぼす社会制度の影響：グローバルなキャリアとドメスティックなキャリアの比較
	堀田幸裕	三 好 章	日本、中国、そして朝鮮半島を中心とした東アジアの国際関係
	馬 麗梅	薛 鳴	日中両国におけるインターネット流行語の比較研究
※	松下佐知子	三 好 章	近現代における戦争と住民生活—愛知県事例を中心として—
	水野光朗	三 好 章	①中印国境紛争の研究 ②領土教育の研究
	宮原佳昭	三 好 章	中国民国期の学校教育における儒教の位置づけ (とくに袁世凱政権期を対象に)
	宮本文幸	李 春 利	中国における化粧品市場の変化と要因分析
	三輪昭子	太田幸治	社会的責任とエシカル企業、及びエシカル消費
	村上享二	三 好 章	中国の国際関係
	山口雅代	加納 寛	戦前・戦中のタイにおける日本語教育と謀報工作
※	湯原健一	三 好 章	日本租借下関東州における植民地官僚の異動と交流
※	吉野孝義	吉 垣 実	「日韓・韓日における司法制度の比較法的検討—民事法を中心として—」
	吉原和男	松岡正子	華僑・華人研究
※	劉 奎	黄 英 哲	台湾漢詩人の日本文壇における影響 (1895-1945)
	劉 国深	黄 英 哲	两岸关系和平发展之日本映像与启示

仁 欽	高 明 潔	現代中国の民族政策と民族問題—内モンゴルを中心に
林 美 茂	李 春 利	近代日本における西洋学術の受容問題を再考察
Kenneth R. Robinson	松岡 正子	Korean-Japanese relations in the fifteenth and sixteenth centuries

※…今年度から

2018年度 厦門大学との部局間協定に基づく客員研究員

氏名	研究主題	備考
何 婭	蔡英文当局対日政策変遷研究	兩岸関係和平發展協同創新センター
賀 迪	1930年代台湾における日本語児童文学の創作、教育と伝播について	兩岸関係和平發展協同創新センター
郭 満	1874年、日本が台湾に出兵した事件に対する研究——李仙得氏を中心とする考察	兩岸関係和平發展協同創新センター
侯 京 京	日本の植民地支配下の満州女性文学の景観形成を研究する	兩岸関係和平發展協同創新センター
黄 俊 凌	冷戦期における国民党当局の琉球(沖縄) 政策の変遷	兩岸関係和平發展協同創新センター
蔣 小 波	《出島日志》与江戸早期长崎华侨文献史料研究	兩岸関係和平發展協同創新センター
張 芸 瑜	日本政界中的“台湾幫”及其对中日关系的影响	兩岸関係和平發展協同創新センター

2018年度 国際問題研究所補助研究員

(五十音順)

	氏名	指導教授	研究テーマ
※	飯田直美	松岡正子	李紹明口述『変革社会中的人生予学術』にみる中国少数民族研究について
※	季泓旭	黄英哲	總動員国家“の衝突と妥協——満洲国政治話語について
※	許 昊	李 春 利	沦陷时期北京的城市建设
	呉 傑 華	黄 英 哲	中国古代劝农文研究
※	銭 寅	周 星	中国的灵魂观念
	宋 暁 煜	黄 英 哲	清末における進化論の翻訳——西洋と日本からの進化論導入
※	張 龍	周 星	実践中的民族与民族服飾
	寺田実智子	加納 寛	日本人に対するタイ語教育に関する研究
※	騰 興 建	松岡正子	中国传统的自然灾害预测
※	楊 建 強	松岡正子	婚俗变迁与婚姻观念的更新—以关中农村为例

※…今年度から


〈参考〉

愛知大学国際問題研究所と
厦門大学兩岸關係和平發展協同創新センターとの学術交流に関する協定書

「愛知大学と厦門大学との学術・教育交流に関する協定書」第4条に基づき、愛知大学国際問題研究所と厦門大学兩岸關係和平發展協同創新センターとの学術交流および協力関係を促進するため、双方の協議のもと、互恵平等の原則に基づき下記の項目に合意する。

1. 両機関は、学術交流を促進するために適切な措置を行う。
2. 両機関は、相互に研究者を受入れ、調査および研究の便宜等を図る。
3. 両機関は、相互に学内刊行物および学術上の資料等の交換を行う。
4. 上述の交流項目以外にも、実現可能な分野の交流について協議し、学術上の多様な交流を行う。
5. 上記の各項に関する詳細な取り決めは、協議の上、各項目の具体的状況に適合する個別の覚書による。
6. 著作権およびその他の知的財産権に結びつく研究協力に関しては、知的財産に関するそれぞれの大学の方針に基づき、取扱いについて個別に交渉するものとする。
7. 本協定書は両機関の責任者が署名した日より5年間有効とする。本協定書は、両機関のいずれかにより内容変更または効力停止について6か月以上前に申し出がなければ、自動的に継続される。
8. 本協定書は、日本語および中国語で作成され、両文書は等しく正文とする。

黄英哲
所長 黄英哲
愛知大学国際問題研究所



2018 8 月 1 日

劉國深
執行主任 劉國深
厦門大学兩岸關係和平發展協同創新センター



2018 9 月 29 日

〈参考〉

厦门大学两岸关系和平发展协同创新中心和爱知大学国际问题研究所学术交流协议

根据「厦门大学和爱知大学学术·教育交流协议书」第 4 条，
厦门大学两岸关系和平发展协同创新中心和爱知大学国际问题研究
所为促进学术交流与合作关系，在双方协议下，基于对等互惠原则，
就以下项目达成协议：

1. 双方为促进学术交流与合作采取适时性措施。
2. 双方互相接受研究人员作调研工作采取适时性措施。
3. 双方互相交换单位出版物及学术资料等。
4. 除上述交流项目之外，双方还可以就其他可行性领域的交流进行协商，以促进学术交流的多样化。
5. 上述各项目的具体落实，在双方协商的基础上，以符合各
项目具体情况的个别协议为准。
6. 关于与著作权、知识产权有关的研究协助，双方各依据所属
大学的知识产权方针各别交涉处理。
7. 本协议自双方代表签字之日起，5 年内有效。如任何一方
需变更有关内容或终止本协议，须提前 6 个月提出，否则
本协议将自动持续有效性。
8. 本协议用日文和中文制定，其效力等同。

执行主任

厦门大学两岸关系和平发展协同创新中心

2018 年 9 月 29 日

所长 黄英哲

爱知大学国际问题研究所

2018 年 8 月 1 日